

1 四日市市学童軟式野球大会 試合方式及び試合規則

1. 本大会は、野球規則及び競技者必携を遵守する。
2. 各ブロックにブロック長を置き、ブロック長の指示に従って予選リーグを行う。
 - ・ブロック長は、会場・審判・組み合わせ等が決まったら事務局長までメールで送信し、各チームへは送信しない。(各チームへは事務局長から送信します。)
3. 予選リーグは5月27日までに消化すること。
4. 予選リーグは延長を行わず、順位決定は下記の順で決定し、上位2チームは決勝トーナメントに出場する権利を得る。
 - ★順位の決定
 - ①勝ち点(勝：3点、引き分け：1点、負：0点)
 - ②勝ち数
 - ③勝者(直接対決による勝ちチーム)
 - ④得失点差
 - ⑤得点が多いチーム
 - ⑥失点が少ないチーム
5. 試合は、7回戦もしくは1時間30分とし、サスペンデットゲームは行わない。
6. コールドゲームについて、予選及び決勝トーナメントは、3回以降10点差、5回以降7点差とする。ただし、決勝戦のみ5回以降7点差とする。
7. 時間切れ(1時間30分)の場合
 - ・先行が勝っている場合及び同点の場合は、その回の終了時点。
 - ・後攻が勝っている場合、
 - 表の攻撃の時、時間切れになった場合は、先行の攻撃が終わった時点。
 - 裏の攻撃の時、時間切れになった場合は、時間になった時点。
8. 試合間隔は20分、シートノックは5分とする。
9. 試合球はケンコーJ号ボールを使用する。
10. 試合開始の1時間前には、必ずグラウンドに集合している事。(審判も含む。)
11. 審判への抗議は、原則として認めない。但し、ルール解釈上の問題については監督が行う。
12. 試合結果は、各ブロック長が責任を持って記録し、PM5:00までに広報担当まで連絡する。
13. 当日の試合チームは、各グラウンドの準備に協力する。
14. 相互審判上での注意事項
 - ・審判は、1回表終了時点で相互のチームに試合開始時間を報告すること。
 - ・相手チームや審判員に対する聞き苦しい”やじ”は厳禁とする。
 - ・スタンドでの自チーム側の応援の”やじ”もチームの責任とする。
 - ・メガホンは1個のみ監督もしくはコーチが使用できるものとする。(その他は不可)
 - ・抗議による試合中断のロスタイムは5分を限度とし、4氏審判の協議結果には従うこと。
15. 審判員の服装について
 - ・運動の出来る服装(帽子・長ズボンの着用)「ユニホームはだめ」

- 運動靴の着用（草履等は禁止）
 - 首にタオルを捲く等見苦しい服装の禁止
16. 球場入り後について
- 監督（30番）、コーチ（29番・28番）と選手のユニホーム、シューズは同じものを使用すること。
 - 裾の広いストレートタイプのパンツは着用禁止とする。
 - グランド内には、監督・コーチ（ユニホーム着用者）以外は入らない。
ただし、監督・コーチが不在の場合は代理を認めるが、ユニホームは必ず着用のこと。
 - グランド内では、フリーバッティングはしないこと。（相手チームの迷惑になるため）
 - ベンチ内での携帯電話の使用は禁止
 - ベンチ内では禁煙。（試合会場では喫煙コーナーを設け、指定場所以外は禁煙にする）
17. イニング間の投球練習で、控捕手が低学年の場合は、試合に出場している野手が変わることが出来る。但しマスクは被ること。
18. オーダー表の提出枚数は、自チーム分を含め予選リーグ3枚、決勝トーナメント4枚とし、準決・決勝戦は5枚とする。（準決・決勝戦は開催会場によって枚数が異なる。）
19. 投手の投球イニングについて
- 一人の投手が一日に投げることの出来るイニングは7イニングまでとし、特別延長を行う場合に限り、最大9イニングまで投げる事が出来る。ただし条件として、特別延長の直前のイニングを投げ切った投手に限り、一日最大9イニングまで投げる事が出来る。
20. 決勝トーナメントについて「6月2日、予備日は6月8日」
- 予選リーグの各ブロック上位2チームにより決勝トーナメントを行う。
 - 決勝トーナメントの抽選会は、後日開催する。
 - 延長戦は7回または1時間30分終了時の打順を変えないノーアウト1、2塁で最大2回までとし、決着がつかない場合は抽選により決める。
 - 準決勝、決勝戦は時間制限なしとし、ボール回しは可とする。